

議事概要

令和5年度第1回東北港湾の技術ビジョン検討委員会

日時：令和5年度11月22日（水）15:00～17:00

場所：仙台合同庁舎B棟9階 港湾空港部 AB 会議室

【議事概要】

- ・「東北港湾の技術ビジョン検討委員会要綱（案）」が諮られ、委員の了承を得た。
- ・要綱に基づき、委員長の選出が行われ、岩手大学の小笠原教授が委員長に選出された。
- ・来年度の「東北港湾の技術ビジョン（仮）」策定に向けて、本年度中に中間案、来年度に最終案をまとめる実施方針案について事務局より説明。
- ・事務局より資料の説明が行われた後、意見交換を行った。

<議 事>

- （1）東北港湾の技術ビジョン、策定スケジュールについて
- （2）東北港湾ビジョンが目指すべき方向性について
 - ①技術ビジョンの理念
 - ②東北港湾が抱える技術的課題
 - ③東北港湾の技術目標

【委員からの主な意見】

- ・技術ビジョンの理念の設定はおおむね問題ない。
- ・理念のイメージ図は、技術ビジョンと東北港湾ビジョン、地域の港湾が抱える問題・ニーズ、東北港湾が抱える技術的課題との関係性について、本来の意図が伝わるよう見せ方を工夫してほしい。
- ・理念に沿った技術的課題の抽出方法になっているか再確認すること。特に、地域の港湾が抱える問題・ニーズに関して、アンケート回答数も踏まえて地域課題の特性が整理できているか確認すべき。
- ・地域や業種でアンケート回答数が異なる状況での整理となるため、重み付けした加算方式ではなく平均値で評価した方が実態を表現できると思われる。
- ・前回技術ビジョンの検証も踏まえたうえで、今回の理念や技術目標設定に至る経緯を説明すると分かりやすい。
- ・東北ならではの地域特性や、前回技術ビジョンの検証等を踏まえ技術目標を整理するとよい。
- ・「技術」の意味合いは多様であり、本検討委員会での「技術」をどう捉えるか共通認識を持って議論した方がよい。
- ・解決すべき課題を長期的、中期的、短期的に分けて対応する必要がある、優先順位を検討した方がよい。

以上